

電気電子工学科における技術者教育プログラムについて

1. 技術者教育プログラムとは？

非政府機関である日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE)）が、「国際的に通用する技術者を育成する教育プログラム」と認定した教育コースであり、国際的基準（ワシントン協定）で「教育の質」が保証されたプログラムです（図1）。教育版 ISO とも言われています。現在、ワシントン合意加盟国は、アメリカ、カナダ、イギリス、ニュージーランド、オーストラリア、アイルランド、南アフリカ、香港、日本、シンガポール、韓国、台湾、マレーシア、トルコ、ロシア、インド、スリランカであり、暫定加盟国がドイツ、パキスタン、バングラデシュです。欧米では長い歴史があり、今後、世界中に広まっていくと考えられています。

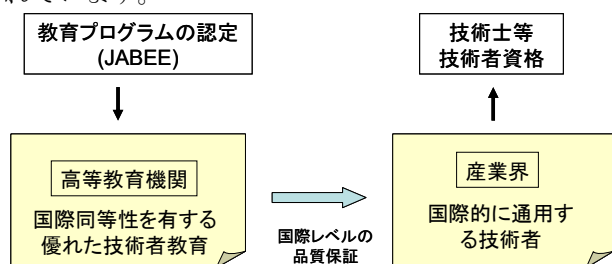


図1 技術者教育プログラムの役割

2. JABEE で認定された教育コースを修了すると？

専門技術の知識と能力を備えた実践的技術者であることが保証され、「修習技術者」の資格を得ることができます。また、申請により国際的に通用する「技術士補」の資格を取得することができます（図2）。さらに、日本には従来から「技術士」の制度がありますが、JABEE で認定された教育コースを修了すると、技術士第一次試験が免除されて、従来の技術士補に相当する「修習技術者」として直接実務修習に入ることができます。

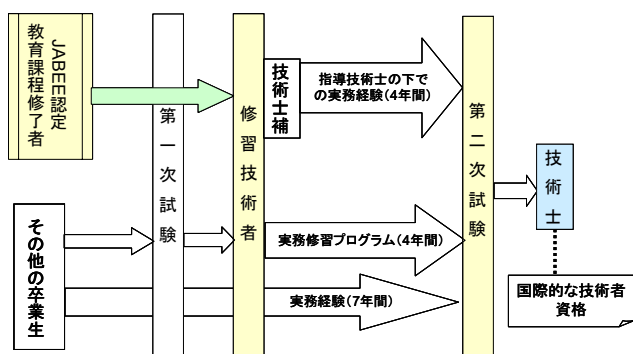


図2 JABEE認定教育課程修了から技術士への道

また、JABEE は学士レベルの技術者教育の質的同等性を国家間で相互に認め合うことを取り決めたワシントン協定に加盟しており、JABEE から認定された技術者教育プログラムは国内のみならず国際的な水準であることが保証されます。技術者の資質を国際的なレベルで競うような分野の企業では、認定を受けた教育コースの

学生を優先的に技術者として採用することになります。また、海外にて業務を行う場合、技術士の資格を持つ者のみが工事や施工または技術指導への従事を許可されるということがあります。

3. どのようにして JABEE 認定プログラムを修了するか？

国際的に通用する技術者を育成するための「学習・教育到達目標」を達成するために設定された「学習・教育の量」を満たし、またそのための「カリキュラム」に沿った科目の単位を取得すれば、この教育プログラムを修了したと認定されます。

4. JABEE で認定された教育コースは以下の能力を身につけるようカリキュラムが設計されています

- 地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを応用できる能力
- 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- 論理的な記述力、口頭発表力、討論等のコミュニケーション能力
- 自主的、継続的に学習する能力
- 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- チームで仕事をするための能力

5. 電気電子工学科の学習・教育到達目標

電気電子工学科では、JABEE の要求する能力を身につけるために、次の学習・教育目標を設定しています。

技術に堪能なる士君子となる素養の研鑽。

- 豊かな教養や社会に対する責任感、国際的視野の習得。
- 電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な工学基礎知識の習得と、それらを応用できる能力の習得。
- 電気電子工学に関する専門知識と、専門的課題を設定できる能力と、問題解決のために専門知識を「もの創り」に応用できる能力との習得
- 物事を多面的・批判的に検証する能力と科学的に論理を展開できる能力の習得。
- 社会における工学的な課題を見つけ出して、自主性、計画性、チームワーク、コミュニケーションをもって課題を解決する能力の習得。

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応

各学習・教育到達目標 [(A), (B), (C), (D), (E)] が JABEE 基準 1 の(2)の知識・能力(a)~(i)を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

JABEE 基準 1(2)の 知識、能力	学習・教育 到達目標								
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
(A)	◎	○							
(B)		◎	◎						
(C)				◎	◎		◎	○	○
(D)					○			◎	
(E)					○	◎			◎

JABEE 基準 1 の(2)の

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討論等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

教育到達目標

- (A) 豊かな教育や社会に対する責任感、国際的視野の学習
- (B) 電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な工学基礎知識の習得と、それらを活用できる能力の習得
- (C) 電気電子工学に関する専門知識と、専門的課題を設定できる能力と、問題解決のために専門知識をもつて創意に活用できる能力の習得
- (D) 物事を多面的・批判的に検証する能力と科学的に論理を展開できる能力の習得
- (E) 社会における工学的な課題を見つけて出して、自主性、計画性、チームワーク、コミュニケーションをもって課題を解決する能力の習得

表4 学習・教育到達目標を達成するために必要な科目の流れ 1

学習・教育 到達目標	授業科目名			
	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
A	電気電子工学序論◎◎			
B	解析学Ⅰ◎◎ 線形数学Ⅰ◎◎ 物理学Ⅰ◎◎ 化学Ⅰ◎◎ 情報科学◎◎ 図形情報学◎◎	解析学Ⅱ◎◎ 線形数学Ⅱ◎◎ 化学実験B◎◎ 化学Ⅱ◎◎ 情報科学◎◎ 数値形状モデリング△△	解析学Ⅲ◎◎ 物理学ⅡA◎◎ 物理学ⅡB◎◎ 物理学実験◎◎ 情報処理基礎◎◎	線形数学Ⅳ◎◎ 複素数力学◎◎ 情報処理応用◎◎
C	電気電子工学実験Ⅰ◎◎ 電磁気学Ⅰ◎◎ 電気回路Ⅰ◎◎ 電子回路Ⅰ◎◎ 情報科学◎◎	電磁気学Ⅱ◎◎ 電気回路Ⅱ◎◎ 半導体デバイス◎◎	電気電子工学実験Ⅰ◎◎ 電磁気学Ⅱ◎◎ 電気回路Ⅱ◎◎ 電子回路Ⅱ◎◎ 電気回路演習◎◎ 電子回路Ⅲ◎◎ プログラミング技法◎◎ エネルギー基礎工学◎◎	電気電子工学実験Ⅱ◎◎ 電磁気学Ⅲ◎◎ 電気回路Ⅲ◎◎ 電気回路演習◎◎ 電子回路Ⅳ◎◎ プログラミング技法◎◎ エネルギー基礎工学◎◎
D	英語AⅠ◎ 英語BⅠ◎ ドイツ語Ⅰ◎ 中国語Ⅰ◎ フランス語Ⅰ◎ 韓国語Ⅰ◎	英語AⅡ◎ 英語BⅡ◎ ドイツ語Ⅱ◎ 中国語Ⅱ◎ フランス語Ⅱ◎ 韓国語Ⅱ◎	英語CⅠ◎ 英語DⅠ◎ ドイツ語Ⅲ◎ 中国語Ⅲ◎ フランス語Ⅲ◎ 韓国語Ⅲ◎	英語CⅡ◎ 英語DⅡ◎ ドイツ語Ⅳ◎ 中国語Ⅳ◎ フランス語Ⅳ◎ 韓国語Ⅳ◎
E	人間科学基礎科目保健体育系◎			
	学外工場実習見学△△			

表4 学習・教育到達目標を達成するために必要な科目の流れ 2

学習・教育 到達目標	授業科目名			
	3年		4年	
	前期	後期	前期	後期
A	人間科学基礎科目人文社会系◎ 副専門人間科学科目(語学科目を除く)△			
B	専門英語Ⅰ◎◎	専門英語Ⅱ◎◎	卒業研究◎◎	
C	統計学△△ 量子力学◎◎ 工学と環境◎◎ システム工学△△ 数値計算法◎◎	統計力学◎◎ 原子力概論△△ 工学倫理・安全工学◎◎ 経営管理・知的財産権△△	卒業研究◎◎	卒業研究◎◎
D	電気電子工学実験Ⅲ△△◎ 電気電子工学PBL実験◎◎ 電磁気学Ⅳ◎◎ 電気回路Ⅳ◎◎ 電気電子計測Ⅰ◎◎ システム工学◎◎ 制御システム工学◎◎ 電気機器◎◎ 電気エネルギー伝送工学◎◎ 電気電子物性◎◎ 信号処理Ⅰ◎◎ デジタル回路設計法◎◎ コンピュータアーキテクチャ◎◎ 組み込みシステム◎◎ 通信基礎◎◎ ネットワークインターフェース◎◎ 電波工学◎◎	電気電子工学PBL実験◎◎ 電気電子計測Ⅱ◎◎ 情報理論◎◎ 電気電子材料◎◎ パワーエレクトロニクス◎◎ 電力システム工学◎◎ 集積回路工学◎◎ 電力応用◎◎ 信号処理Ⅱ◎◎ アナログ回路設計法◎◎ システムLSI◎◎ 組み込みオペレーティングシステム◎◎ 共通工学◎◎ 通信ネットワーク◎◎ センサ・インタフェース工学◎◎	電機設計法◎◎ 移動通信及び法接◎◎	電気法規・施設管理◎◎
E	電気電子工学実験Ⅲ△△◎ 専門英語Ⅰ◎◎	電気電子工学PBL実験◎◎ 専門英語Ⅱ◎◎	卒業研究◎◎ 卒業研究◎◎	
	学外工場実習見学△△			

表2 学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準

学習・教育到達 目標の大項目	関連する基準 1の(a)~(i)の項 目	関連する基準 1の(a)~(i)の対 応	評価方法および評価基準
(A) 豊かな教育や社会に対する責任感、国際的視野の習得。	(a) (b)	◎ ○	・外国語系を除く人間科学基礎科目から10単位以上を修得すること。 ・「電気電子工学序論」「専門英語I」「専門英語II(必修)」の3単位を修得すること。 ・「卒業研究(必修)」の5単位を修得すること。
(B) 電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な工学基礎知識の習得と、それらを活用できる能力の習得。	(b) (c)	◎ ◎	・「解析学I」「線形数学I」「物理学I」「物理学実験」「化学I」「化学実験B」「情報科学I」の22単位を修得すること。 ・「工学と環境」「工学倫理・安全工学」から2単位以上修得すること。
(C) 電気電子工学に関する専門知識と、専門的課題を設定できる能力と、問題解決のために専門知識をもつて創意に活用できる能力との習得。	(d) (e) (h) (i)	◎ ◎ ◎ ○	・「電気電子工学実験入門」「電気電子工学実験I」「電気電子工学実験II」「電気電子工学PBL実験」「電磁気学I」「電磁気学II」「電磁気学演習」「電磁気学演習」「電気回路I」「電気回路II」「電気回路III」「電気回路IV」「電気回路演習」「半導体デバイス」「電子回路I」「電子回路II」「電子回路III」「電子回路IV」「電子回路演習」「数値計算法」「エネルギー基礎工学」「プログラミング技法(必修)」の32単位を修得すること。 ・「卒業研究(必修)」の5単位を修得すること。 ・電気工学コースの学生は「電気電子工学実験III」「制御システム工学(必修)」の3単位を修得すること。 ・電気工学コースの学生は「電磁気学IV」「電気回路IV」「電気電子計測I」「電気電子計測II」「システム工学」「情報理論」「信号処理I」から8単位以上、「電気エネルギー伝送工学」「電気機器」「電気電子物性」「電力システム工学」「パワーエレクトロニクス」「電気電子材料」「集積回路工学」「電力応用」「電気法規・施設管理」「電機設計法」から12単位以上、「信号処理II」「通信基礎」「ネットワークインターフェース」「電波工学」「光通信工学」「通信ネットワーク」「組み込みオペレーティングシステム」「センサ・インタフェース工学」「移動通信及び法接」「デジタル回路設計法」「コンピュータアーキテクチャ」「アナログ回路設計法」「システムLSI」「組み込みシステム」から6単位以上、それぞれ修得すること。 ・電子工学コースの学生は「電気電子工学実験III A」「信号処理I(必修)」の3単位を修得すること。 ・電子工学コースの学生は「電磁気学IV」「電気回路IV」「電気電子計測I」「電気電子計測II」「システム工学」「情報理論」「制御システム工学」から8単位以上、「信号処理II」「通信基礎」「ネットワークインターフェース」「電波工学」「光通信工学」「通信ネットワーク」「組み込みオペレーティングシステム」「センサ・インタフェース工学」「移動通信及び法接」「デジタル回路設計法」「コンピュータアーキテクチャ」「アナログ回路設計法」「システムLSI」「組み込みシステム」から12単位以上、および「電気エネルギー伝送工学」「電気機器」「電気電子物性」「電力システム工学」「パワーエレクトロニクス」「電気電子材料」「集積回路工学」「電力応用」「電気法規・施設管理」「電機設計法」から6単位以上、それぞれ修得すること。
(D) 物事を多面的・批判的に検証する能力と科学的に論理を展開できる能力の習得。	(e) (h)	○ ◎	・「電気電子工学PBL実験(必修)」の2単位を修得すること。 ・「卒業研究(必修)」の5単位を修得すること。 ・電子工学コースの学生は「電気電子工学実験III A(必修)」の1単位を修得すること。
(E) 社会における工学的な課題を見つけて出して、自主性、計画性、チームワーク、コミュニケーションをもって課題を解決する能力の習得。	(e) (f) (g)	○ ◎ ◎	・「英語A I」「英語A II」「英語B I」「英語B II」「英語C I」「英語C II(必修)」の6単位を修得すること。 ・「ドイツ語I・II」「中国語I・II」「フランス語I・II」「韓国語I・II」のいずれかの2単位を修得すること。また、「英語D I・II」「ドイツ語III・IV」「中国語III・IV」「フランス語III・IV」「韓国語III・IV」から2単位以上を修得すること。 ・保健体育系は「スポーツ運動学実技A」と「スポーツ運動学実技B(必修)」の2単位を修得すること。 ・「卒業研究(必修)」の5単位を修得すること。